

私の治療カルテ

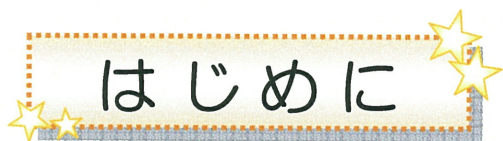
—大腸連携フォローアップパス—



国立病院機構大阪医療センター



大阪府がん診療連携協議会



はじめに

『連携パス』とは、地域のかかりつけ医と国立大阪医療センターの医師が、あなたの治療経過を共有できる「治療計画表」のことです。『連携パス』を活用し、かかりつけ医との医師が協力して、あなたの治療を行います。

病状が落ち着いているときの投薬や日常の診療はかかりつけ医が行い、専門的な治療や定期的な検査は国立大阪医療センターが行いますので、ちょっとしたケガや日常の相談は、まずかかりつけ医にご相談ください。必要に応じて国立大阪医療センターを受診していただきます。また、**緊急を要する場合で休日や夜間等かかりつけ医を受診できない場合は、国立大阪医療センター休日時間外受付（06-6942-1334直通）までご連絡ください。その際には、連携パスを使用している旨をお申し出ください**

この『連携パス』を活用することで、国立大阪医療センターと地域のかかりつけ医とが協力し、患者さんの視点に立った安心で質の高い医療を提供する体制を構築することを目指しています。また、患者さんにとっても長い待ち時間や通院時間の短縮などの負担軽減や、ご自身の治療計画や経過の把握、かかりつけ医の手厚い診療による不安の解消といったメリットにもつながります。



もくじ

🔔 退院後の日常生活 : p.3

🔔 退院後の食生活 : p.4

🔔 退院後もこれだけは忘れずに :
p.5 ~ p.6

🔔 大腸がん術後連携パス : p.7 ~ p.26

🔔 メモ : p.27 ~ p.28

🔔 国立大阪医療センターの各部署・担当
等のご案内 : p.29 ~ p.30



退院後の日常生活

手術後におこりやすい症状について

大腸を切り取ったために栄養吸収や食事摂取量の低下、それらに伴う体重減少などのトラブルはほとんどありません。しかし、多くの場合術後1～2ヶ月でやや軟便の状態となることが多いですが、ときに便秘気味になる場合があります。

一方、直腸を切除した場合には、便をためる能力と便を押し出す能力が低下するため、排便の回数が増加したり、1回の便量が減少したり、残便感などの排便機能障害をきたします。

また、小腸や大腸の癒着（ゆちゃく）により、内容物の通過不良が生じ、腹部の膨満を感じたり、あるいはひどくなると腸閉塞（ちょうへいそく）となる場合があります。

これらの症状は、多くの場合食事療法や下剤や消化薬でコントロールすることができ、術後一定の期間がすぎると生じにくくなります。

社会復帰に向けて

社会復帰が可能となる時期は、年齢や体力、社会的状況、仕事内容、手術術式などにより異なりますので、個々の状況に応じて対応すべきです。ひとつの目安としては、退院後の仕事内容が主にデスクワークであれば術後1ヶ月程度で、腹筋をよく使う運動や仕事であれば術後2～3ヶ月くらいを目処に社会復帰が可能と考えます。



退院後の食生活

食生活に注意して

原則的には、食事の種類に制限はありません。つまり、何を食べてもかまいませんが、食物繊維が多く含まれているものや消化しにくいものは、腸閉塞の原因となることがありますので、術後3ヶ月は控えたほうがよいでしょう。

最も基本的なことは、おいしく、ゆっくり、楽しく、食べることです。次のことに留意して、規則正しく、バランスの良い食事を心がけましょう。また、ほどほどならアルコールを飲むことも可能です。



注意した方がよいおなかの症状について

便秘に対しては、水分や食物繊維を多くとるようにし、生活のリズムを整え、適度な運動を行い、規則正しい食事と排便の習慣をつけましょう。食事・生活習慣に注意しても便秘が続く場合、下剤が必要となりますので、担当医に相談しましょう。

下痢の場合は、消化の良い食品をとり、水分を制限せずに、むしろ補いましょう。少量ずつの食事を、回数を増やすことで、消化管の負担を軽くしましょう。

頻便の場合は、生活のリズムを整え、食事時間を規則正しくしましょう。過労は禁物です。

腹部膨満感に対しては、1回の食事量を控えるように心がけましょう。それでも治らなければ、一度、食事をやめましょう。食事をやめても腹部膨満が続き、排ガスのない場合は腸閉塞が疑われます。担当医にすぐに相談しましょう。



退院後もこれだけは忘れずに！

🔔 定期的な診察や検査に行きましょう

術後**5年**を目処に、定期的な診察や検査を行います。
診察や検査の間隔は、手術後の状態によって違いますから、
医師の指示通り、決められた日に診察や検査を受けるように
してください。なお、定期検査は大腸がんを対象として
いるものです。他の病気をカバーするものではありません。



定期的な診察
や検査を

🔔 術後補助化学療法について

手術によりがんを切除できた場合でも、リンパ節転移があった場合に、再発率が高くなることが知られています。このような場合、手術を行った後に化学療法を行うことで、再発を予防するあるいは再発までの期間を延長できることがわかっています。このような治療を、**術後補助化学療法**といいます。一般には、術後補助化学療法の対象はリンパ節転移があるステージⅢ期の患者さんに対して、1年から2年程度の期間です。





指示された薬は忘れずに服用しましょう

病院で処方された薬は、消化薬や化学療法剤で、手術後の状態を安定させるためや手術の治療効果を高めるために必要なものです。薬を服用するように医師から指示された場合には、指示された通りに忘れずに正しく服用しましょう。

副作用がある場合には、医師に申し出て
ください。



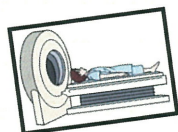
悩んでいるのはあなただけではありません

あなたが安心して治療や検査を続けていくためには、家族とともに医師や看護師さんとのコミュニケーションをよくし、一緒にこの病気と闘っていく気持ちが大切です。

まだまだ不安や悩みがあると思いますが、あなたと同じ経験をされた患者さんはたくさんいらっしゃいます。そして、その多くの方が、病気を克服し、充実した人生を送っていることを忘れないでください。決して自分のからに閉じこもってしまわないように、**明るく、希望を持って前進し、病気をしをかえって良かったと思われるような建設的な生活を送ってください。**



大腸がん術後連携パス(1～6ヶ月)



(術後)			かかりつけ医	かかりつけ医	大阪医療センター or かかりつけ医
			1ヶ月	2ヶ月	3ヶ月
			毎月受診	毎月受診	月 日
診察	問診	食欲	○	○	○
		腹部症状			
		排便			
	体重				
視触診		腹部理学所見			
		一般的内科的診察			
		直腸指診（直腸癌）			
採血	血算・生化学		▲	▲	○
	CEA・CA19-9				○
検査	胸部レントゲンあるいはCT検査				
	腹部超音波あるいはCT検査				
	大腸内視鏡検査				
投薬	一般薬		△	△	△
	補助化学療法薬		▲	▲	▲
自己検診	腹部のチェック	体重			
		腹部の症状はないか			
		便通の異常はないか			
	抗がん剤の副作用のチェック	吐き気・嘔吐はないか			
		全身倦怠感はないか			
		口内炎はないか			

気になる項目をチェックし、医師に相談しましょう



○:必須項目 △:必要時に行います

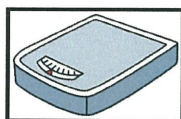
▲:補助化学療法施行時に実施

かかりつけ医	かかりつけ医	大阪医療センター
4ヶ月	5ヶ月	6ヶ月
毎月受診	毎月受診	月 日
○	○	○
		○
▲	▲	○
		○
		○
		○
		△
△	△	△
▲	▲	▲

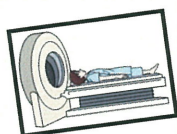
～メモ～

*あなたが手術を受けた日

平成 年 月 日



大腸がん術後連携パス(7ヶ月～1年)



(術後)			かかりつけ医	かかりつけ医	大阪医療センター
			7ヶ月	8ヶ月	9ヶ月
			毎月受診	毎月受診	月 日
診察	問診	食欲	○	○	○
		腹部症状			
		排便			
	体重				
	視触診	腹部理学所見			
一般的内科的診察					
直腸指診（直腸癌）					
採血	血算・生化学		▲	▲	○
	CEA・CA19-9				○
検査	胸部レントゲンあるいはCT検査				
	腹部超音波あるいはCT検査				
	大腸内視鏡検査				
投薬	一般薬		△	△	△
	補助化学療法薬		▲	▲	▲
自己検診	腹部のチェック	体重			
		腹部の症状はないか			
		便通の異常はないか			
	抗がん剤の副作用のチェック	吐き気・嘔吐はないか			
		全身倦怠感はないか			
		口内炎はないか			

気になる項目をチェックし、医師に相談しましょう

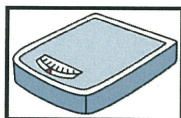


○:必須項目 △:必要時に行います

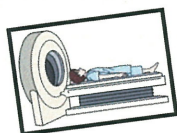
▲:補助化学療法施行時に実施

かかりつけ医	かかりつけ医	大阪医療センター
10ヶ月	11ヶ月	1年
毎月受診	毎月受診	月 日
○	○	○
		○
▲	▲	○
		○
		○
		○(CTが望ましい)
△	△	△
▲	▲	▲

～メモ～



★大腸がん術後連携パス(1年1～6ヶ月)★



(術後)			かかり つけ医	かかり つけ医	大阪医療 センター or かかり つけ医
			1年1ヶ月	1年2ヶ月	1年3ヶ月
			適宜受診		月 日
診察	問 診	食欲	○	○	○
		腹部症状			
		排便			
	体 重				
	視触診	腹部理学所見			
一般的内科的診察					
直腸指診（直腸癌）					
採血	血算・生化学		△	△	○
	CEA・CA19-9				○
検査	胸部レントゲンあるいはCT検査				
	腹部超音波あるいはCT検査				
	大腸内視鏡検査				
投薬	一般薬		△	△	△
	補助化学療法薬				
自己 検診	腹部の チェック	体 重			
		腹部の症状はないか			
		便通の異常はないか			
	抗がん剤の 副作用の チェック	吐き気・嘔吐はないか			
		全身倦怠感はないか			
		口内炎はないか			

気になる項目をチェックし、医師に相談しましょう

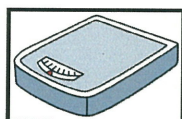


○: 必須項目 △: 必要時に行います

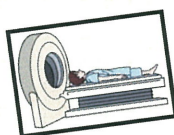
かかりつけ医	かかりつけ医	大阪医療センター
1年4ヶ月	1年5ヶ月	1年6ヶ月
適宜受診		月 日
○	○	○
		○
△	△	○
		○
		○
		○
△	△	△

～メモ～

メモ欄



★大腸がん術後連携パス(1年7ヶ月～2年)★



(術後)			かかり つけ医	かかり つけ医	大阪医療 センター or かかり つけ医
			1年7ヶ月	1年8ヶ月	1年9ヶ月
			適宜受診		月 日
診察	問 診	食欲	○	○	○
		腹部症状			
		排便			
	体 重				
	視触診	腹部理学所見			
一般的内科的診察					
直腸指診（直腸癌）					
採血	血算・生化学		△	△	○
	CEA・CA19-9				○
検査	胸部レントゲンあるいはCT検査				
	腹部超音波あるいはCT検査				
	大腸内視鏡検査				
投薬	一般薬		△	△	△
	補助化学療法薬				
自己 検診	腹部の チェック	体 重			
		腹部の症状はないか			
		便通の異常はないか			
	抗がん剤の 副作用の チェック	吐き気・嘔吐はないか			
		全身倦怠感はないか			
		□内炎はないか			

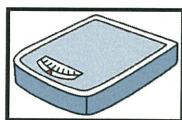
気になる項目をチェックし、医師に相談しましょう



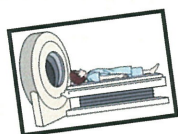
○: 必須項目 △: 必要時に行います

かかりつけ医	かかりつけ医	大阪医療センター
1年10ヶ月	1年11ヶ月	2年
適宜受診		月 日
○	○	○
		○
△	△	○
		○
		○
		○(CTが望ましい)
		△
△	△	△

～メモ～



大腸がん術後連携パス(2年1～6ヶ月)



(術後)			かかりつけ医	かかりつけ医	大阪医療センター or かかりつけ医
			2年1ヶ月	2年2ヶ月	2年3ヶ月
			適宜受診		月 日
診察	問診	食欲	○	○	○
		腹部症状			
		排便			
	体重		○	○	○
	視触診	腹部理学所見			
		一般的内科的診察			
		直腸指診(直腸癌)			
採血	血算・生化学		△	△	○
	CEA・CA19-9				○
検査	胸部レントゲンあるいはCT検査				
	腹部超音波あるいはCT検査				
	大腸内視鏡検査				
投薬	一般薬		△	△	△
	補助化学療法薬				
自己検診	腹部のチェック	体重			
		腹部の症状はないか			
		便通の異常はないか			
	抗がん剤の副作用のチェック	吐き気・嘔吐はないか			
		全身倦怠感はないか			
		口内炎はないか			

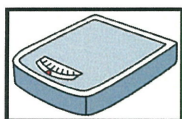
気になる項目をチェックし、医師に相談しましょう



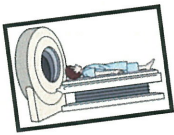
○:必須項目 △:必要時に行います

かかりつけ医	かかりつけ医	大阪医療センター
2年4ヶ月	2年5ヶ月	2年6ヶ月
適宜受診		月 日
○	○	○
		○
△	△	○
		○
		○
		○
△	△	△

～メモ～



大腸がん術後連携パス(2年7ヶ月～3年)



(術後)			かかりつけ医	かかりつけ医	大阪医療センター or かかりつけ医
			2年7ヶ月	2年8ヶ月	2年9ヶ月
			適宜受診		月 日
診察	問診	食欲			
		腹部症状			
		排便			
	体重		○	○	○
	視触診	腹部理学所見			
		一般的内科的診察			
		直腸指診 (直腸癌)			
採血	血算・生化学		△	△	○
	CEA・CA19-9				○
検査	胸部レントゲンあるいはCT検査				
	腹部超音波あるいはCT検査				
	大腸内視鏡検査				
投薬	一般薬		△	△	△
	補助化学療法薬				
自己検診	腹部のチェック	体重			
		腹部の症状はないか			
		便通の異常はないか			
	抗がん剤の副作用のチェック	吐き気・嘔吐はないか			
		全身倦怠感はないか			
		口内炎はないか			

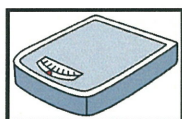
気になる項目をチェックし、医師に相談しましょう



○:必須項目 △:必要時に行います

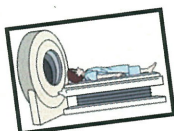
かかりつけ医	かかりつけ医	大阪医療センター
2年10ヶ月	2年11ヶ月	3年
適宜受診		月 日
○	○	○
		○
△	△	○
		○
		○
		○(CTが望ましい)
		○
△	△	△

～メモ～





大腸がん術後連携パス(3年1～6ヶ月)



			かかりつけ医	かかりつけ医	かかりつけ医
(術後)			3年1ヶ月	3年2ヶ月	3年3ヶ月
			適宜受診		
診察	問診	食欲			
		腹部症状			
		排便			
	体重		○	○	○
	視触診	腹部理学所見			
		一般的内科的診察			
		直腸指診(直腸癌)			
採血	血算・生化学		△	△	○
	CEA・CA19-9				○
検査	胸部レントゲンあるいはCT検査				
	腹部超音波あるいはCT検査				
	大腸内視鏡検査				
投薬	一般薬		△	△	△
	補助化学療法薬				
自己検診	腹部のチェック	体重			
		腹部の症状はないか			
		便通の異常はないか			
	抗がん剤の副作用のチェック	吐き気・嘔吐はないか			
		全身倦怠感はないか			
		口内炎はないか			

気になる項目をチェックし、医師に相談しましょう

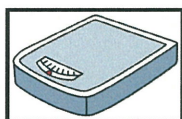


○: 必須項目 △: 必要時に行います

□: ステージⅢ大腸癌の際には実施

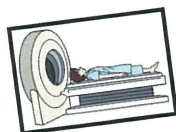
かかりつけ医	かかりつけ医	大阪医療センター
3年4ヶ月	3年5ヶ月	3年6ヶ月
適宜受診		月 日
○	○	○
		○
△	△	○
		○
		□
		□
△	△	△

～メモ～





大腸がん術後連携パス(3年7ヶ月～4年)



(術後)			かかりつけ医	かかりつけ医	かかりつけ医
			3年7ヶ月	3年8ヶ月	3年9ヶ月
			適宜受診		
診察	問診	食欲	○	○	○
		腹部症状			
		排便			
	体重				
	視触診	腹部理学所見			
一般的内科的診察					
直腸指診（直腸癌）					
採血	血算・生化学		△	△	○
	CEA・CA19-9				○
検査	胸部レントゲンあるいはCT検査				
	腹部超音波あるいはCT検査				
	大腸内視鏡検査				
投薬	一般薬		△	△	△
	補助化学療法薬				
自己検診	腹部のチェック	体重			
		腹部の症状はないか			
		便通の異常はないか			
	抗がん剤の副作用のチェック	吐き気・嘔吐はないか			
		全身倦怠感はないか			
		口内炎はないか			

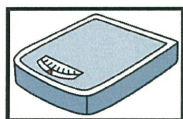
気になる項目をチェックし、医師に相談しましょう



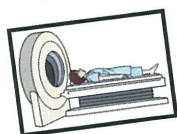
○:必須項目 △:必要時に行います

かかりつけ医	かかりつけ医	大阪医療センター
3年10ヶ月	3年11ヶ月	4年
適宜受診		月 日
○	○	○
		○
△	△	○
		○
		○
		○
△	△	△

～メモ～



大腸がん術後連携パス(4年1～6ヶ月)



(術後)			かかりつけ医	かかりつけ医	かかりつけ医	
			4年1ヶ月	4年2ヶ月	4年3ヶ月	
			適宜受診			
診察	問診	食欲	○	○	○	
		腹部症状				
		排便				
	体重					
視触診	腹部理学所見	一般的内科的診察				
						直腸指診（直腸癌）
採血	血算・生化学		△	△	△	
	CEA・CA19-9					
検査	胸部レントゲンあるいはCT検査					
	腹部超音波あるいはCT検査					
	大腸内視鏡検査					
投薬	一般薬		△	△	△	
	補助化学療法薬					
自己検診	腹部のチェック	体重				
		腹部の症状はないか				
		便通の異常はないか				
	抗がん剤の副作用のチェック	吐き気・嘔吐はないか				
		全身倦怠感はないか				
		口内炎はないか				

気になる項目をチェックし、医師に相談しましょう

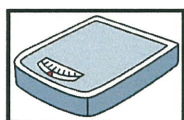


○: 必須項目 △: 必要時に行います

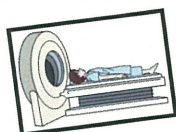
□: ステージⅢ大腸癌の際には実施

かかりつけ医	かかりつけ医	大阪医療センター
4年4ヶ月	4年5ヶ月	4年6ヶ月
適宜受診		月 日
○	○	○
		○
△	△	○
		○
		□
		□
△	△	△

～メモ～



大腸がん術後連携パス(4年7ヶ月～5年)



(術後)			かかりつけ医	かかりつけ医	かかりつけ医
			4年7ヶ月	4年8ヶ月	4年9ヶ月
			適宜受診		
診察	問診	食欲	○	○	○
		腹部症状			
		排便			
	体重				
	視触診	腹部理学所見			
一般的内科的診察					
直腸指診（直腸癌）					
採血	血算・生化学		△	△	△
	CEA・CA19-9				
検査	胸部レントゲンあるいはCT検査				
	腹部超音波あるいはCT検査				
	大腸内視鏡検査				
投薬	一般薬		△	△	△
	補助化学療法薬				
自己検診	腹部のチェック	体重			
		腹部の症状はないか			
		便通の異常はないか			
	抗がん剤の副作用のチェック	吐き気・嘔吐はないか			
		全身倦怠感はないか			
		口内炎はないか			

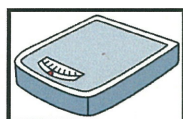
気になる項目をチェックし、医師に相談しましょう



○:必須項目 △:必要時に行います

かかりつけ医	かかりつけ医	大阪医療センター
4年10ヶ月	4年11ヶ月	5年
適宜受診		月 日
○	○	○
		○
△	△	○
		○
		○
		○
		△
△	△	△

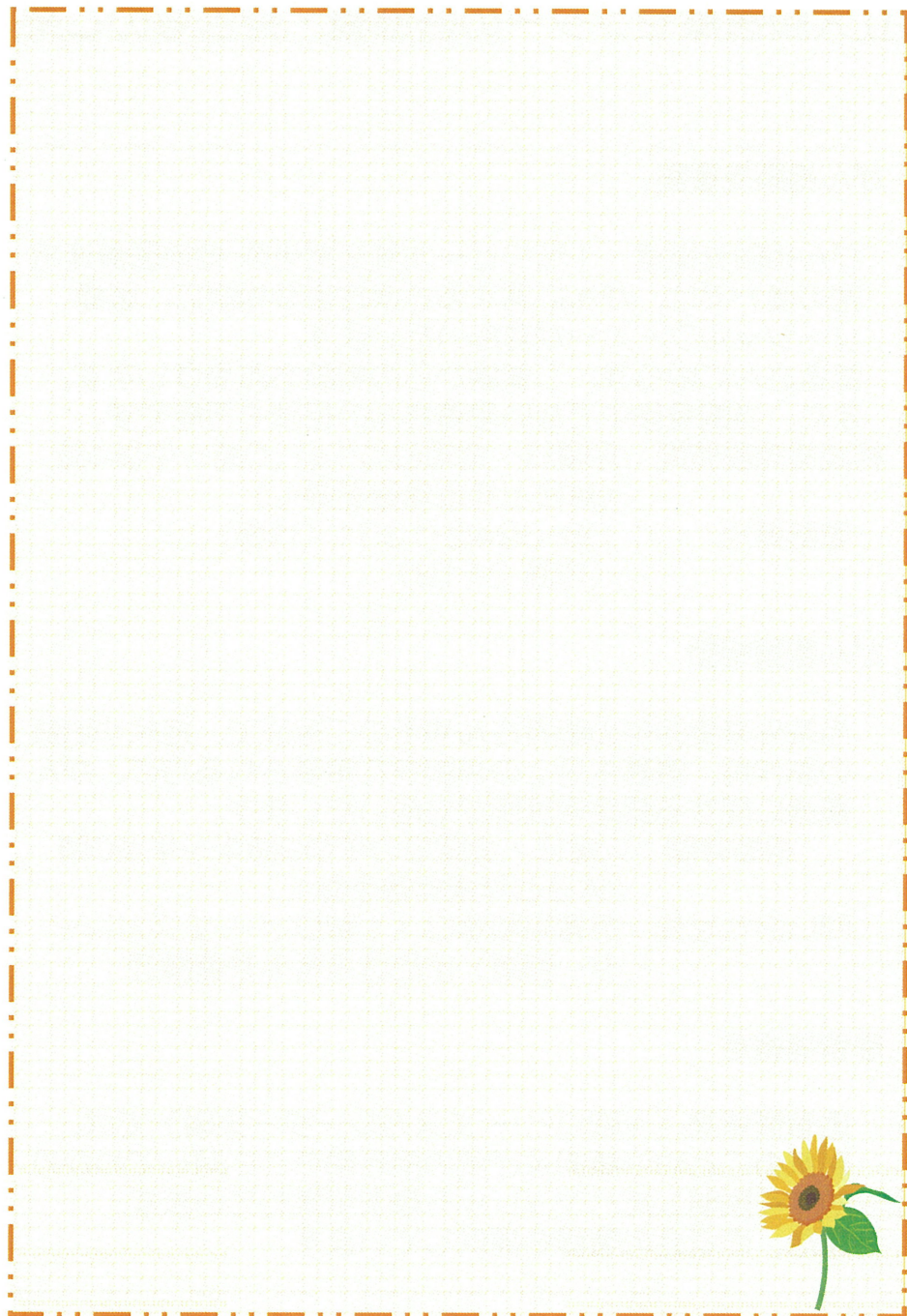
～メモ～



★定期受診は5年目まで
★定期受診日以外でも必要があれば受診

～メモ～





国立大阪医療センターの各部署・担当等のご案内

がん相談支援室

がん相談支援室（1階ロビー北側玄関東隣 地域医療連携室の奥）では、がんに関するさまざまな相談に、医療ソーシャルワーカーが対応いたします。

患者さんに限らず、ご家族からの相談もお受けします。

また、当院受診中でない患者さんの相談も可能です。

相談室開設時間：月曜日～金曜日の午前10時～午後4時
（休日と年末年始を除く）

電話番号：06-6942-1331（代表）
（内線 2118）

がん看護相談

当院外来受診中の患者さんやそのご家族で、症状や治療の副作用、療養生活上の相談をご希望される方に、がん看護に関する認定看護師が対応いたします。

相談時間：火曜日・金曜日の午前9時半～午後0時
（休日と年末年始を除く）

問い合わせ先：患者相談窓口（1階ロビー エスカレーター西隣）または各科外来看護師

患者情報室

患者情報室（1階ロビー エスカレーター東隣）では、病気のことや治療および薬の副作用などに関してわかりやすく説明したパンフレット類を用意しています。

また、患者会の情報も提供しています。

地域医療連携室

地域医療連携室では、患者さんがいつでも安心して近隣の医療機関にかかれるよう、あるいは患者さんのご希望があればいつでも当院をご紹介いただけるよう、各地域の医療機関の先生方と当院医師とのスムーズな連絡・連携をはかっています。

再診予約変更センター

再診予約変更センターでは、既にお取りになられた診察予約の変更を承ります。

なお、検査予約の変更および新規の診察予約は予約センターではお受けできませんので、
直接ご来院のうえ、主治医にお申し出ください。

**受付時間：月曜日～金曜日の午後1時～午後4時
（休日と年末年始を除く）**

電話番号：06-6946-3519（直通）

休日・夜間などの対応（休日時間外受付）

緊急を要する場合で、休日や夜間等かかりつけ医を受診できないときは、休日時間外受付までご連絡ください。

電話番号：06-6942-1334（直通）





国立病院機構大阪医療センター
TEL 06-6942-1331 (代表)

あなたのお名前

さん

かかりつけ医

(電話

—

—

)

電話

外科

(代表)

平成22年10月